

経営比較分析表（令和4年度決算）

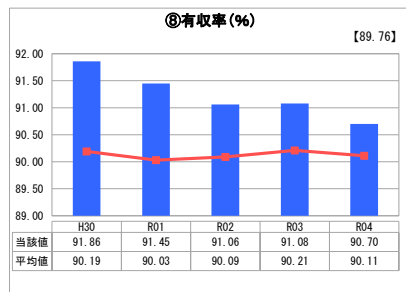
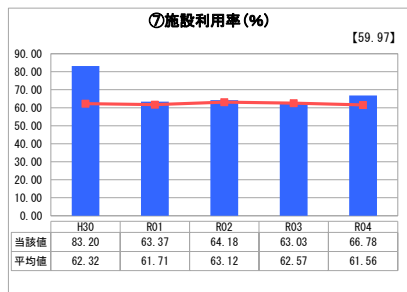
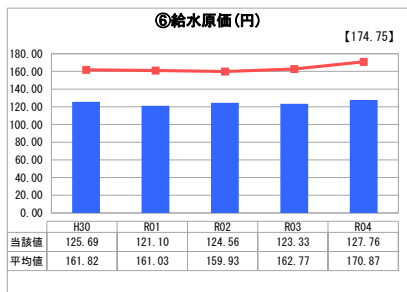
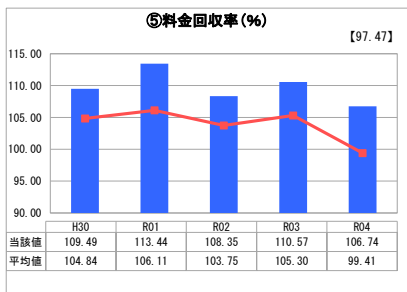
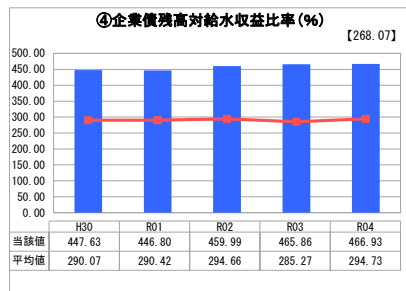
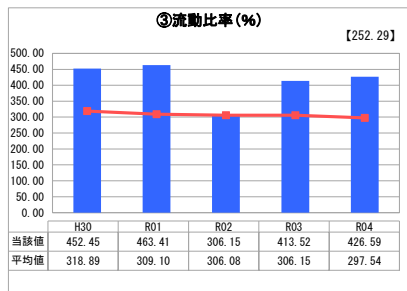
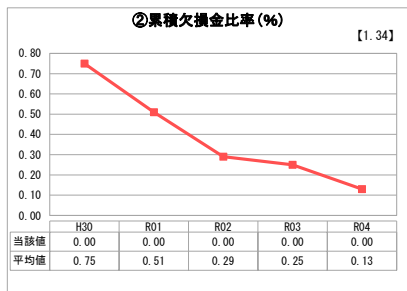
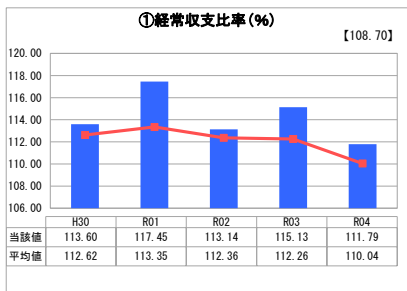
鳥取県 米子市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	63.74	99.37	2,235	

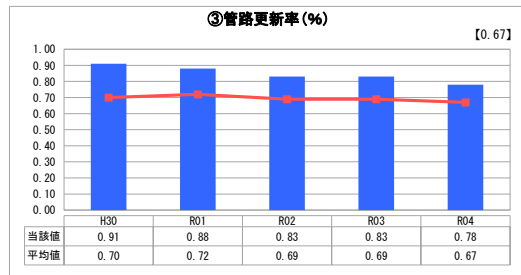
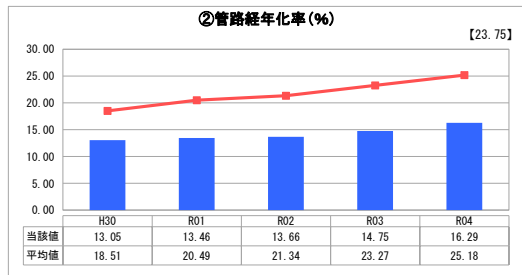
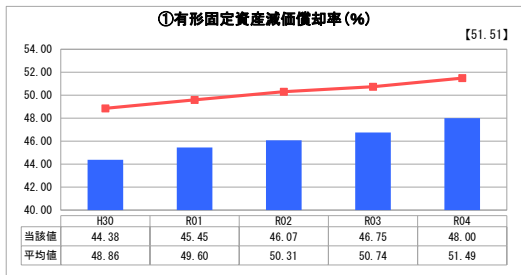
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
146,139	132.42	1,103.60
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
180,597	165.73	1,089.71

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

おおむね健全な経営を維持している。
 ①経常収支比率
 100%を超えており、単年度収支は黒字で推移している。
 ②累積欠損金比率
 欠損金が生じていないため0%で推移している。
 ③流動比率
 100%を超えており、短期的な債務に対する支払能力を確保している。
 ④企業債残高対給水収益比率
 類似団体平均を上回っており、将来に向け計画的な借入の抑制により改善を図る。
 ⑤料金回収率
 100%を超えており、給水に必要な費用は水道料金で回収できている。
 ⑥給水原価
 類似団体平均を下回る水準で推移している。
 ⑦施設利用率
 類似団体平均と同程度で推移している。
 ⑧有収率
 90.5%を超えて推移しており、類似団体平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

管路、施設ともに老朽化の傾向にある。財政状況を踏まえた計画のもと更新を実施する。
 ①有形固定資産減価償却費率
 類似団体平均に比べ低い水準で推移しているが上昇傾向にあり、施設の老朽化は進んでいる。
 ②管路経年化率
 類似団体平均に比べ低い水準で推移している。引き続き計画的な管路更新を行う。
 ③管路更新率
 配水管更新を進め類似団体平均値を上回っている。今後も安全な水を安定して供給し続けるために引き続き計画的に取り組んでいく。

全体総括

経営の健全性・効率性は類似団体と比べ良好に保たれている。一方、老朽化の状況では、①②のとおり、類似団体と比べ低い水準ではあるものの年々増加しており老朽化が進んでいる状況にある。施設・管路の更新事業は水需要を考慮したうえダウンサイジングを念頭に置き、引き続き優先度、必要性を考慮しながら米子市水道事業基本計画に基づき実施していく。